



桜井 雅人

さくらいまさと：日本共産党市川市議会議員

2010年
1月
#26

- ◆73年市川市若宮生まれ 36歳
 - ◆若宮小、市立4中、渋谷幕張高卒業、大谷大学中退
 - ◆95年阪神淡路大震災のボランティアに参加
 - ◆05年・07年原水爆禁止世界大会に参加
 - ◆07年市川市議会議員に初当選
 - ◆鬼高在住
 - ◆07年～市川市議会環境文教常任委員、市川市廃棄物減量等推進審議会委員、市川市勤労福祉センター運営委員
 - ◆09年6月～市川市議会建設常任委員、市川市交通対策審議会委員、市川市勤労福祉センター運営委員(再)
- 自宅 TEL/FAX047-370-0870 市役所内控室 TEL047-334-1111 (内線4592)
e-mail : sakurai@jcp-ichikawa.com 発行/日本共産党市議団地域版

2010年 今年も頑張ります!

ご意見・ご要望 お声をおかけください

市議会議員となって3年弱、多くの市民の方から要望や相談事など受けてきましたが、昨年は特に生活保護関係の相談が急増。中には30代、40代といった私と同じ世代の方もおります。

100年に1度といわれる不況、そして派遣などの不安定雇用が広がる中で働き盛りの世代でも仕事がない、あるいは無理な働かされ方を強いられた結果、病気になって働けなくなる、生活の保障もなくなってしまふ。そうした方が増えています。最低限のくらしや、命さえ脅かされる、そうした方を1人でも多く助けたい。その思いで日々相談を受け、市にも対応を求めてきました。

今年も「何とかしてほしい」という声にしっかり応えとともに、なによりも福祉の充実など市民のいのちを大事にする市川市政を目指して頑張ります。何かお困りごと等ございましたら、いつでもお声をおかけください。



岡田真議とともに街頭で議会報告



行徳駅前「なんでも相談」受付中

国政交渉 国にも働きかけます!



11月9日、県内市町村議員とともに文部科学省と交渉しました

昨年11月、私は県内市町村議員とともに政府に対して「2010年度予算に関する要望書」を提出、各省と交渉しました。

私は文部科学省との交渉に参加し、主に「世界一高い学費負担軽減」「ゆきとどいた教育条件」を求めて交渉。担当課とのやり取りの中で、公立高校の授業料については授業料相当額を各都道府県など設置者に対して交付する予定で来年度予算の概算要求をしていること、私学の高校生に対する授業料助成について来年度は今年度比44億円増の112億円の概算要求をしていること等、明らかとなりました。

今後も市議会のみならず、国に対しても市民の声に応えるよう働きかけます。

平和・核廃絶の取り組みを求めます!

昨年は市川市核兵器廃絶平和都市宣言25周年、今年は終戦65周年と節目の年が続きます。昨年は市川市が平和都市宣言25周年を契機として11月に、核廃絶に賛同する世界各国の都市で構成する「平和市長会議」へ加盟しました。一昨年6月、私は「平和市長会議」について市川市議会で初めて取り上げ、昨年6月議会には再度加盟を求めていました。今後は市川市がさらに国内、国外の都市とも連携し核廃絶実現のために全力を尽くすよう求めます。

また、昨年6月議会で、毎年広島市・長崎市へ贈る折り鶴を「郵送でなく直接手渡してほしい」という折ってくださった方の要望に応えるよう求めたところ「原爆投下から65周年という節目の年なので改めて検討したい」との答弁がありました。5年前1度だけ実現した「折り鶴贈呈派遣」を毎年行うよう求めます。



広島市・長崎市で開催される平和祈念式典に届けられる千羽鶴(平和を願う多くのみなさんが折ったものです)